

令和7年度 公益財団法人くまもと里海づくり協会 事業計画書

1 総 括

公益目的事業である里海づくり事業は、種苗の生産及び配付を行う「里海づくり推進事業」として、マダイをはじめ5種の魚類と、クルマエビ、アカウニ等4種の介類の生産・配付を行うと共に、技術開発のための「里海づくり技術開発試験」としてキジハタの親魚養成・採卵、タイラギの中間育成及びカキ類種苗生産安定化試験に取り組む。

また、里海づくり事業が県民に広く理解を得られるよう「里海づくり事業の啓発普及」を行う。

一方、その他の事業としては、海面及び内水面の水産養殖業の発展を目的に、養殖用等の水産動植物の種苗生産及び配付をする収益事業を行う。(表1 参照。)

2 里海づくり事業（公益目的事業：公1）

（1）里海づくり推進事業

事業費（前年度）：171,798千円（174,936千円）

水産動植物の種苗を生産・育成して放流し、その資源を管理する「つくり育て管理する漁業」を推進するにあたり、生物多様性に配慮した水産動植物の種苗を生産・育成して、市町、漁協、釣り団体等に配付すると共に、その放流効果を検証して、県民に広く啓発・普及することによって、県民生活に不可欠な水産物の安定供給の確保と海洋環境の保護を図る。

ア 水産動植物の種苗生産及び配付

事業費（前年度）：165,537千円（168,701千円）

当協会は、熊本県内最大の種苗生産機関として、熊本県が策定する「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画」に基づき、県内放流事業に必要な種苗を、市町・漁協などで構成する熊本県栽培漁業地域展開協議会や釣り団体等に配付して、県下全海域の種苗放流事業の促進を図る。

なお、種苗生産・配付する魚介類は、マダイ、ヒラメ、イサキ、カサゴ、アユの5魚種とクルマエビ、ガザミ、タイワンガザミ、アカウニの4介類、合計9種である。(表2-1、表2-2 参照。)

（ア）水産動物種苗生産業務等受託事業

事業費（前年度）：125,004千円（123,784千円）

熊本県からの水産動物種苗生産業務等の受託事業で、生産・配付する種苗は、マダイ、ヒラメ、イサキ、カサゴ、アユの5魚種とクルマエビ、ガザミの2種の介類、合計7種の魚介類である。

a マダイ

全長50mm種苗97.2（97.2）万尾を生産・配付する。

b ヒラメ

全長30mm種苗8.7（8.7）万尾、全長50mm種苗49.9（49.9）万尾を生産・配付する。

c イサキ

全長40mm種苗26.6(26.6)万尾を生産・配付する。

d カサゴ

全長50mm種苗13.9(12.9)万尾を生産・配付する。

e アユ

体重3.5g種苗10.8(7.8)万尾、体重0.3g種苗130(130)万尾を生産・配付する。

f クルマエビ

全長14mm種苗355.4(426.1)万尾を生産・配付する。

g ガザミ

3令期種苗62.6(62.6)万尾を生産・配付する。

(イ) 有明海漁業振興技術開発事業（種苗生産等）業務受託事業

事業費（前年度）：17,924千円（17,758千円）

熊本県からの種苗生産等業務の受託事業で、生産・放流する種苗は、クルマエビ、ガザミの2介類である。

a クルマエビ

放流群毎にDNA標識を付すため、採卵に用いる親エビを限定し、放流群間で混入していない平均全長14mm以上の種苗200(200)万尾を試験放流する。

b ガザミ

放流群毎にDNA標識を付すため、採卵に用いる親ガニを限定し、放流群間で混入していない1令期以上の種苗140(140)万尾を試験放流する。

(ウ) 協会単独種苗生産等事業

事業費（前年度）：22,610千円（27,159千円）

市町等から直接当協会に生産・配付要望を受けて取り組む事業で、生産・配付する種苗は、マダイ、ヒラメ、イサキ、カサゴ、アユの5魚種とクルマエビ、タイワンガザミ、アカウニの3介類、合計8種の魚介類である。

a マダイ

全長50mm種苗1.0(1.3)万尾を生産・配付する。

b ヒラメ

全長50mm種苗12.0(12.0)万尾を生産・配付する。

c イサキ

全長40mm種苗11.5（9.0）万尾を生産・配付する。

d カサゴ

全長70mm種苗3.4（3.5）万尾を生産・配付する。

e アユ

体重3.5g種苗15.0（14.6）万尾を生産・配付する。

f クルマエビ

全長14mm種苗18.0（18.0）万尾を生産・配付する。

g タイワンガザミ

1令期種苗12.0（19.0）万尾を生産・配付する。

h アカウニ

殻径10mm種苗28.0（28.3）万個を生産・配付する。

イ 共同放流事業の推進

事業費（前年度）：5,580千円（5,564千円）

マダイ・ヒラメ・イサキ・カサゴ・ガザミ・エビ類の共同放流事業を実施する熊本県栽培漁業地域展開協議会に対し負担金を支出して参画するとともに、事務局として共同放流事業の推進を図る。

同協議会は、マダイ50mm種苗97.2万尾、ヒラメ50mm種苗58.7万尾、イサキ40mm種苗26.6万尾、カサゴ50mm種苗10.9万尾、ガザミ3令期種苗50.6万尾の共同放流を行い、クルマエビを有明海域における四県が連携する共同放流事業として40mm種苗140万尾を放流するとともに、八代海域におけるクルマエビ、クマエビなどのエビ類の共同放流を行う。

ウ 種苗放流効果の実証

事業費（前年度）：681千円（671千円）

放流効果を実証していくため、共同放流事業を実施する熊本県栽培漁業地域展開協議会に参画し、県水産研究センターと連携しながら県内主要市場等においてモニタリング調査等を行い、放流魚の混獲率等を把握すると共に、その効果の啓発普及に取り組む。

（2）里海づくり技術開発試験

事業費（前年度）：20,409千円（8,496千円）

本県の里海づくりにとって有望な水産動植物の種苗生産技術開発試験等を実施すると共に、既存の種類についても種苗性向上及び生産コスト低減の観点から技術向上試験を実施し、効果的な里海づくり事業を促進する。（表3 参照。）

ア 種苗生産技術開発試験

(ア) キジハタ親魚養成・採卵・種苗生産試験

事業費（前年度）：4,466千円（3,244千円）

キジハタ種苗生産に用いる良質な卵を得るために親魚養成・採卵・種苗生産試験を行う。確保した卵は卵質検証のために、種苗生産試験を行う。

(イ) 新たな稼げる養殖業推進事業に係るカキ類種苗生産安定化対策業務受託事業

事業費（前年度）：10,852千円（0千円）

県からの委託を受け、マガキとクマモト・オイスターの種苗生産安定化試験を行う。

イ 中間育成技術開発試験

事業費（前年度）：5,091千円（5,252千円）

熊本県からの有明海漁業振興技術開発事業（種苗生産等）業務受託事業として、漁獲量が低迷しているタイラギの資源回復を図るために中間育成技術開発試験を行う。

(ア) タイラギ

タイラギの人工稚貝の中間育成技術開発試験を行う。

ウ 種苗生産技術等安定試験

(ア) 量産技術開発のためのデータ収集

里海づくり事業を推進する種苗生産において、種苗性や生産性の向上をめざし技術改良のためのデータ収集を行う。

（3）里海づくり事業の啓発普及

事業費（前年度）：520千円（516千円）

熊本県栽培漁業地域展開協議会の共同放流事業と連携し、各漁協等が行うマダイ・ヒラメ・イサキ・カサゴ・クルマエビ・ガザミの中間育成及び放流の指導・助言を行う。

また、沿海市町と全漁業協同組合が参加して実施する本協議会の共同放流事業の意義と実績を県民に幅広く周知するため報道機関に対し情報提供（プレスリリース）を行う。

この他、施設の見学、教育機関等の研修受入、市町や漁協、地域団体等が主催する体験放流に種苗提供等を実施し啓発普及を行う。

3 その他の事業（収益事業：収1）

事業費（前年度）：3,540千円（3,380千円）

海面の養殖業等の振興を主な目的に、養殖用等の水産動植物の種苗生産、中間育成及び配付を行う。

（表4 参照。）

（1）養殖用クルマエビ種苗生産及び配付

養殖用として10～12mm種苗199.6（377.6）万尾を生産・配付する。

（2）養殖用アカウニ中間育成及び配付

養殖用として殻径13～15mm種苗3.0（3.0）万個を生産・配付する。

表1 公益財団法人くまもと里海づくり協会の事業(令和7年度)

1 里海づくり推進事業				2 里海づくり技術開発試験			3 里海づくり事業の啓発普及
(1) 水産動植物の種苗生産及び配付(5魚種・4介類)	(2) 共同放流事業の推進	(3) 種苗放流効果の実証	(1) 種苗生産技術開発試験	(2) 中間育成技術開発試験	(3) 種苗生産技術等安定試験		
①水産動植物種苗生産業務等受託事業 ②有明海漁業振興技術開発事業(種苗生産等)業務受託事業 ③協会単独種苗生産等事業	熊本県栽培漁業地域展開協議会の事務局活動(協議会事業内容:マダイ・ヒラメ・イサキ・カサゴ・ガザミ・エビ類(クルマエビ等)の共同放流事業を実施)	共同放流事業におけるマダイ、ヒラメ、イサキの効果調査(放流魚混獲率調査)	キジハタ親魚養成・採卵・種苗生産試験	タイラギ中間育成技術開発試験受託(有明海漁業振興技術開発事業(種苗生産等)業務受託事業)	量産技術開発のためのデータ収集	共同放流事業の報道機関への情報提供(プレスリース)	共同放流事業における育成及び放流指導
生産魚種	生産魚種	生産魚種	マダイ ヒラメ イサキ カサゴ アユ クルマエビ	マダイ ヒラメ イサキ カサゴ アユ クルマエビ ガザミ	マダイ ヒラメ イサキ カサゴ アユ クルマエビ ガザミ	マダイ ヒラメ イサキ カサゴ アユ クルマエビ ガザミ タケノコガザミ アカウニ	施設見学受入・教育機関等研修受入・体験放流等

は県からの受託

その他の事業(収益事業:収1)	
事業内容:海面の養殖業等の発展を主な目的に種苗の生産・配付を行う事業	
(1) 養殖用クルマエビ種苗生産及び配付	
(2) 養殖用アカウニ中間育成及び配付	

表2 令和7年度里海づくり推進事業－水産動植物の種苗生産及び配付

表2-1 生産計画及び作業スケジュール

魚種名	生産計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
マダイ	〈県受託〉 97.2万尾(50mm)												親魚仕立て
	〈協会単独〉 1.0万尾(50mm)	採卵 陸上飼育	海面飼育	出荷 50mm									
ヒラメ	〈県受託〉 8.7万尾(30mm)												親魚仕立て(親魚成熟促進:長日処理)
	49.9万尾(50mm)	出荷30・50mm											採卵 育成
イサキ	〈協会単独〉 12.0万尾(50mm)												
	〈県受託〉 26.6万尾(40mm)												親魚養成
カサゴ	〈協会単独〉 11.5万尾(40mm)												親魚仕立て
	〈県受託〉 13.9万尾(50mm)												親魚養成
アユ	〈協会単独〉 3.4万尾(70mm)												親魚仕立て
	〈県受託〉 130.0万尾(0.3g)												採仔 育成
	10.8万尾(3.5g)												
	15.0万尾(3.5g)												卵搬入 出荷 0.3g
													アユ中間育成施設で育成

〈県受託〉…………水産動植物種苗生産事業
〈協会単独〉…………里海づくり協会単独種苗生産等

表2-2 生産計画及び年間作業スケジュール

魚種名	生産計画	年間作業スケジュール										
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ケルマエビ	(県受託) 35.4万尾(14mm) (有明海受託) 200.0万尾(14mm以上) (協会単独) 18.0万尾(14mm)	産卵・育成 出荷 14mm	産卵・育成 出荷 10mm以上									
			産卵・育成 出荷 14mm									
				産卵・育成 出荷 14mm								
ガサミ	(県受託) 62.6万尾(C3) (有明海受託) 140.0万尾(C1以上)	産卵・育成 出荷 C1・C3										
	(協会単独)	12.0万尾(C1)										
タイワンガザミ	(協会単独)		産卵・育成 出荷 C1									
アカウニ	(協会単独) 28.0万個(10mm)		出荷 10mm									育成開始

(県受託)…………水産動物種苗生産事業

(有明海受託)……有明海漁業振興技術開発事業

(協会単独)……里海づくり協会単独種苗生産等

表3 令和7年度里海づくり技術開発試験
試験項目別年間作業スケジュール

項目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
種苗生産技術開発試験 (協会単独)												
キジンタ親魚養成・採卵・種苗生産試験 (県受託)												
新たに稼げる養殖業推進事業に係るカキ類種苗 生産安定化対策業務受託事業												
マガキ (10mm)	採卵		中間育成									
クマモト・オイスター(10mm)		採卵		中間育成								
中間育成技術開発試験 (有明海受託)												
タイラギ中間育成技術開発	50mm											
種苗生産技術安定等試験 (県受託)……………新たに稼げる養殖業推進事業に係るカキ類種苗生産安定化対策業務 (有明海受託)……………有明海漁業振興技術開発事業 (協会単独)……………里海づくり協会単独種苗生産等												

表4 令和7年度その他事業計画表一収益事業
生産計画及び年間作業スケジュール

魚種名	生産計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
クルマエビ (養殖用)	〈収益事業〉 199.6万尾(10~12mm)			生産開始		出荷							
アカウニ (養殖用)	〈収益事業〉 3.0万尾(13~15mm)							出荷					育成開始